



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社フジオフードグループ本社
代表者 代表取締役 藤尾政弘
(東証プライム コード番号 2752)
問合せ先 取締役 九鬼祐一郎
TEL 06-6360-0304

予想値と実績値の差異及び特別損失の計上 並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2022年12月6日に公表いたしました2022年12月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年12月期第4四半期会計期間において特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しをいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,758	百万円 △1,875	百万円 △754	百万円 △1,970	円 銭 △44.70
実績値(B)	26,530	△1,886	△722	△3,402	△77.21
増減額(B-A)	△227	△11	31	△1,432	—
増減率(%)	△0.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	25,453	△3,343	1,785	△489	△11.23

2. 差異の理由

2022年12月6日時点の予想において、原価の高騰とコロナ影響の拡大により減損損失を2022年12月期第4四半期に約7億円見込んでおりましたが、3.に記載のとおり減損損失を特別損失として追加計上したこと、また、4.に記載のとおり法人税等調整額を計上したことにより、前回予想を下回ることとなりました。

3. 特別損失の計上

当社は、2022年12月期第4四半期連結会計期間において、収益性の低下がみられた店舗等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として1,102百万円を計上いたしました。当該項目につきましては、本日公表の「2022年12月期 決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

4. 繰延税金資産の取り崩し

当第 4 四半期連結会計年度において、現時点における将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を 1,025 百万円取り崩すこととし、法人税等調整額に計上いたしました。当該項目につきましては、本日公表の「2022 年 12 月期 決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

以上